

1 実行責任者

神奈川県立武山養護学校不祥事ゼロプログラムは、全職員で取り組む。実行責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。また、総括教諭は、校長及び副校長、教頭を補佐し、事務長を補助する。

2 目標及び行動計画(今年度、重点的に取り組む7項目)

＜武山養護学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める＞

課題		目標	行動計画		備考
1	体罰、不適切指導、セクハラ、パワハラ防止	教職員の人権尊重の意識を高める。	(1)	異性に限らず児童生徒とマンツーマンで指導しなければならない時は、誤解されないようにドアをあけるなどの対策をする。	一部 新規
			(2)	日常の挨拶の励行を心掛けるとともに、児童生徒の人権尊重のため、呼称は「～さん」とする。また、不適切指導を防止するため教員同士が互いに事前対処的に注意しあう。	継続
2	個人情報等管理、情報セキュリティ対策	個人情報であるという意識を常に持ち、校内移動時及び持ち出し時のルール徹底を図る。	(1)	個人情報に係る書類の受け渡しは、相手方の机の上に置かず手渡しを基本とする。	新規
			(2)	個人情報の封入や配付の際の取違えを防止するため、複数で声を出し、氏名や住所等ダブルチェックをしながら作業する。	継続
			(3)	写真・動画の記憶媒体は学校管理のSDカードのみの使用とする。また、データの外部持ち出しを原則禁止する。	継続
3	個別教育計画、進路関係書類に関する事故防止	適切な記載を行うとともに、取り扱い規則を遵守する。	(1)	職員必携を活用して適切な記載を行い、内容や表現について複数で推敲・チェックを行う。個人ファイルの保管状況を定期的にチェックする。	一部 新規
			(2)	書類の校外持ち出し時には、可能な限り個人が特定されない処理を行うとともに必要な手続きをとる。	継続
4	不適正経理処理防止、私費会計の適正な処理	会計上の事故やトラブルを未然に防ぎ、適切な執行に努める。	(1)	学籍がなくなったら速やかに清算返金手続きをするとともに、口座引き落とし解約の手続きを確実に行う。	継続
			(2)	校外行事等の県費執行において、立替払い等の不適正執行を防ぐため、チェックシートによる複数確認を行う。	継続
5	児童生徒に関わる学校事故の未然防止	教育活動に当たり事故を未然に防ぐ手立てを講じる。	(1)	除菌スプレー、消毒用アルコール、洗剤、薬品等の使用・管理に十分注意し、誤飲等の事故が起きないよう万全の対策をとる。	継続
			(2)	アレルギーに関する事故防止のため所定のルールにのっとり行動を徹底する。	新規
			(3)	日常的に物品の整理整頓を行う。はさみ等は鍵のかかるロッカーで保管する。落下、衝突、指はさみ事故等がおきないように危険箇所をチェックし、クッションや鍵の設置等防止対策をとる。	一部 新規
6	法令順守意識の向上	公務員であり教員であることを自覚し、行動する。	(1)	職員行動指針の確認、不祥事防止会議・研修会を活用して、意識の向上を図る。また、校内のルールを順守し気持ちよく職務を遂行できるよう日常的に注意を払う。	一部 新規
7	公務外非行の防止	職員のコンプライアンス意識を高める。	(1)	新採用の校内研修の必須項目に位置づけ管理職が講師となり意識啓発を行う。	継続

＜他に、「交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止」などにも適時取り組む。＞

3 検証結果 年度末に目標の達成状況について検証を行う。結果を踏まえ、平成 31 年度の武山養護学校不祥事ゼロプログラムを策定する。また、検証結果を学校ホームページに掲載する。

